

A-問3

問3 61歳の男性。上顎前歯の動揺と正中離開の増大とを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頰側※	2	2	6	3	2	2
歯種	I			I		
口蓋側※	2	5	8	3	2	2
動揺度	1			1		

※:歯周ポケットの深さ(mm)

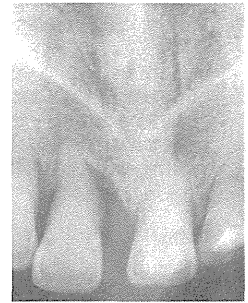
病態の増悪因子はどれか。2つ選べ。

- a 口呼吸
- b 食片圧入
- c 外傷性咬合
- d 根尖性歯周炎
- e 上唇小帯の高位付着

A-問3



写真A



写真B

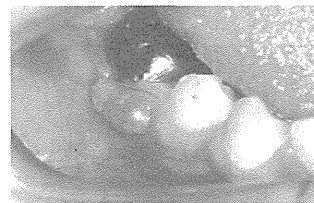
A-問5

問5 9歳の男児。下顎右側第二乳臼歯歯肉の腫脹を主訴として来院した。自発痛はなく、繰り返し膿瘍を形成するという。右下Eの動揺は2度で打診痛を認める。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 乳歯冠の除去
- b 歯肉腫脹部の切除
- c 右下Eの抜去
- d 右下Eの根尖切除
- e 右下Eの根管開放

A-問5



写真A



写真B

A-問6

問6 55歳の女性。歯周病の治療を希望して来院した。歯周基本治療後に歯周ポケットはすべて3mm以下となったが、下顎右側小臼歯部のブラッシング時の疼痛や違和感が認められたため、歯周外科手術を行った。歯周基本治療後の暫間被覆冠を除去した時の口腔内写真(A)と術直後の口腔内写真(B)とを別に示す。

この手術の目的はどれか。正しいものをすべて選べ。

- a 審美性の回復
- b 口腔前庭の拡張
- c 角化歯肉幅の増大
- d 可動性粘膜の増大
- e アタッチメントの獲得

A-問6



写真A



写真B

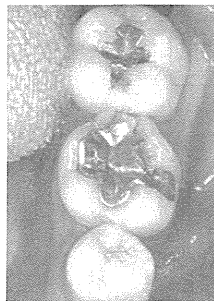
A-問7

問7 31歳の男性。下顎左側第一大臼歯の拍動性の自発痛を主訴として来院した。数年前から疲労時に痛みと頰側歯肉部の腫脹とが度々起こるという。初診時の写真(A)、エックス線写真(B)及び髓室開拡後の写真(C)を別に示す。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 2根管である。
- b 近心側の髓室壁が過剰に削除されている。
- c 根管口をラウンドバーで拡大する。
- d 根管長測定時には偏心投影で撮影する。
- e Kファイルで根管を穿通し排膿を試みる。

A-問7



写真A



写真B

A-問7



写真C

A-問8

問8 55歳の男性。下顎左側第一大臼歯の疼痛を主訴として来院した。不可逆性の歯髄炎と診断し、抜髄を行うこととした。初診時のエックス線写真(A)と処置中の口腔内写真(B)とを別に示す。

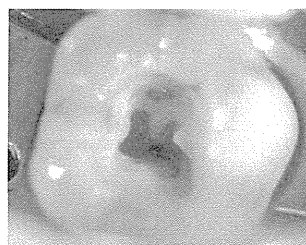
次に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 天蓋の除去
- b 作業長の測定
- c 根部歯髄の除去
- d 根管消毒剤の貼葉
- e 根管口のロート状拡大

A-問8



写真A



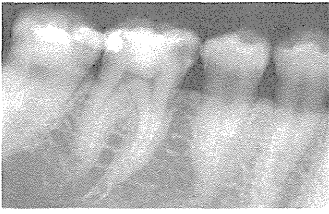
写真B

A-問9、12

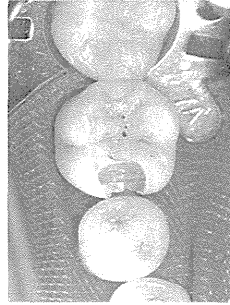
次の文により9、12の問いに答えよ。

34歳の女性。下顎右側第一大臼歯の冷水痛を主訴として来院した。2週間前から一過性の冷水痛を自覚するようになったという。電気診に正常に反応する。コンポジットレジンで修復することとした。初診時のエックス線写真(A)と感染象牙質除去後の口腔内写真(B)とを別に示す。

A-問9、12



写真A



写真B

A-問9、12

問9 窩洞形成で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 頬側への開放
- b 舌側への開放
- c 小窩裂溝部への拡大
- d 咬合面窩洞辺縁のベベル形成
- e 歯肉側壁エナメル質の白濁部除去

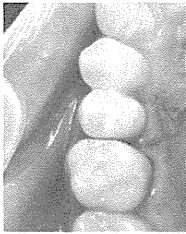
問12 修復に必要なのはどれか。2つ選べ。

- a ウエッジ
- b 圧排用綿糸
- c セメント裏層器
- d マトリックスバンド
- e サービカルマトリックス

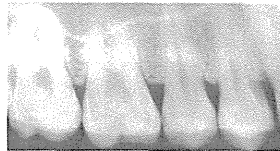
A-問10

問10 24歳の男性。上顎右側第二小臼歯の違和感を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(A)、エックス線写真(B)を下に、器具の写真(C)を別に示す。検査に使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

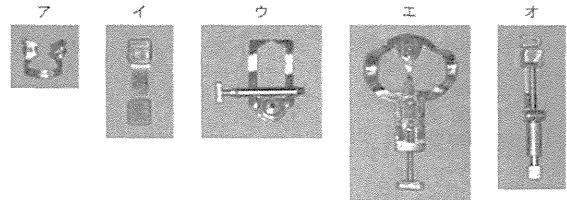


写真A



写真B

A-問10



写真C

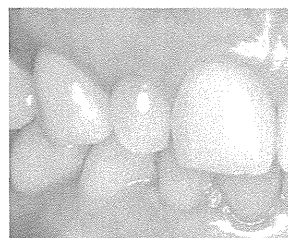
A-問11

問11 35歳の女性。上顎右側側切歯の審美障害を主訴として来院した。コンポジットレジンを用いた直接ベニア修復を行うこととした。初診時と修復後の口腔内写真(A、B)を別に示す。

歯面処理剤として用いたのはどれか。1つ選べ。

- a リン酸
- b フッ化水素酸
- c ポリアクリル酸
- d デンティンプライマー
- e シランカップリング剤

A-問11



写真A(初診時)



写真B(修復後)

A-問13

問13 6歳の男児。下顎前歯の形態異常を主訴として来院した。経過観察を行っている。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。

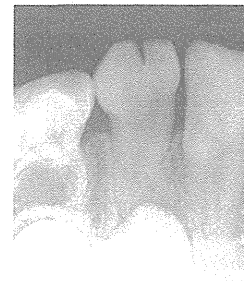
定期健診時に留意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 齶 蝕
- b 咬 耗
- c 歯冠破折
- d 歯髓感染
- e 生理的歯根吸収

A-問13



写真A



写真B

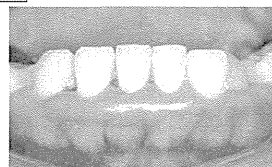
A-問14

問14 41歳の女性。下顎前歯の歯肉の腫れを主訴として来院した。ブラッシング指導に続いて歯肉縁上歯石除去を行うこととした。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。

歯石除去後に発現が予想されるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉退縮
- b 歯肉の発赤
- c 歯肉の増殖
- d 歯の舌側傾斜
- e 象牙質知覚過敏症

A-問14



写真A



写真B

A-問15

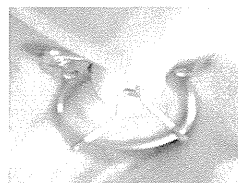
問15 58歳の男性。上顎右側第一小臼歯の痛みを主訴として来院した。根管充填前にマスターポイント試適を行うこととし、ポイントを作業長に合わせ折り曲げた。初診時のエックス線写真(A)、ポイントを先に口蓋根管に挿入したときの口腔内写真(B)及びポイントを先に頬側根管に挿入したときの口腔内写真(C)を別に示す。試適時の所見から考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 穿孔
- b 根管の癒合
- c イスマスの存在
- d 作業長設定の誤り
- e 根尖部の拡大不足

A-問15



写真A



写真B

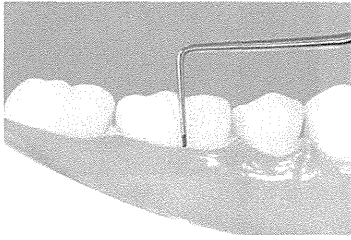


写真C

A-問16

問16 WHOプローブを用いた検査時の写真を下に示す。
CPIコードはどれか。1つ選べ。

- a 0
- b 1
- c 2
- d 3
- e 4

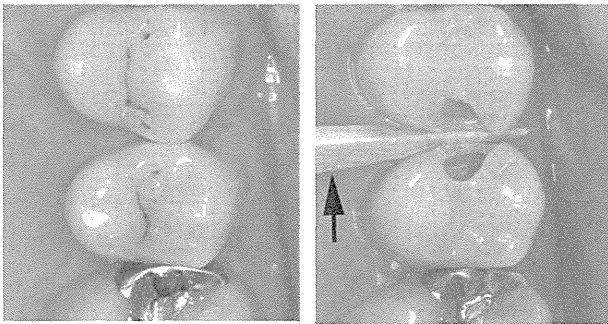


A-問17

問17 21歳の女性。上顎左側第一小臼歯と第二小臼歯との冷水桶を主訴として来院した。コンポジットレジン修復を行うこととした。初診時の口腔内写真(A)と齶蝕除去中の口腔内写真(B)とを別に示す。
矢印で示す器具の使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 歯の固定
- b 隔壁の設置
- c 術野の明視
- d 接点の回復
- e 歯間乳頭の保護

A-問17



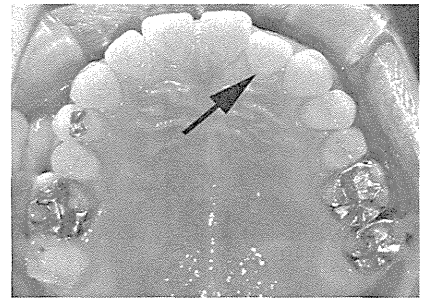
写真A

写真B

A-問18

問18 上顎の口腔内写真(ミラー像)を下に示す。
矢印で示す歯に特徴的な齶蝕好発部位はどれか。1つ選べ。

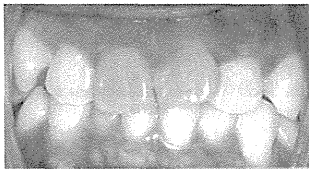
- a 歯帯
- b 盲孔
- c 棘突起
- d 斜切痕
- e 中心結節



A-問19

問19 32歳の男性。上顎前歯部の審美障害を主訴として来院した。口腔内写真を下に示す。5年前に前歯部を打撲したが、そのまま放置していたという。感染根管処置・根充後、漂白処置をすることになった。
この際の対応として正しいのはどれか。2つ選べ。

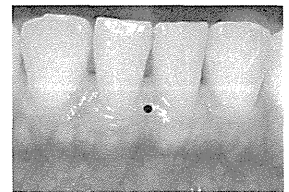
- a 印象採得し、カスタムトレーを製作する。
- b 処置にあたって、ラバーダム防湿を行う。
- c 根管充填剤は根尖側1/3まで除去する。
- d 象牙質をできるだけ残さないよう髓腔を拡大する。
- e 過酸化水素水と過ボウ酸ナトリウムを混和して使用する。



A-問20

問20 下顎前歯部の口腔内写真を下に示す。
●印で示す部分に針を刺入して浸潤麻酔を行ったところ、刺入点から薬液が口腔内に漏れたという。
原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 粘膜筋板の欠如
- b 粘膜上皮の角化
- c 粘膜下組織の欠如
- d スティッピングの存在
- e 粘膜固有層の膠原線維の配列状態

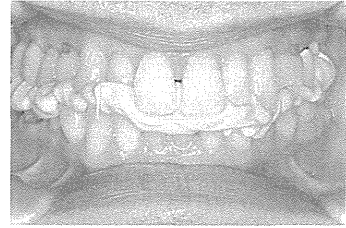


A-問21

問21 54歳の男性。上顎左側大臼歯部の歯冠補綴を行うこととした。咬合採得時の写真(A)、インターオクルーザルレコードの写真(B)及びインターオクルーザルレコードにある作業を行った後の写真(C)を別に示す。
この作業によって防止できるのはどれか。1つ選べ。

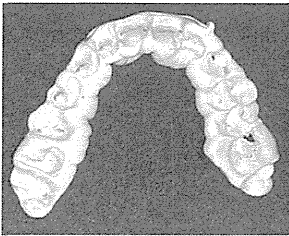
- a 歯冠補綴装置の過高
- b 歯冠補綴装置の不適合
- c 歯型のトリミングの誤り
- d 咬合器の矢状顎路傾斜角調節の誤り
- e 上顎作業用模型の咬合器装着位置の誤り

A-問21

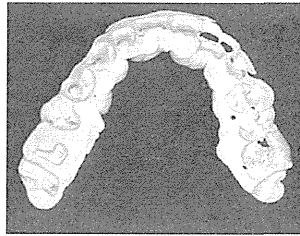


写真A

A-問21



写真B



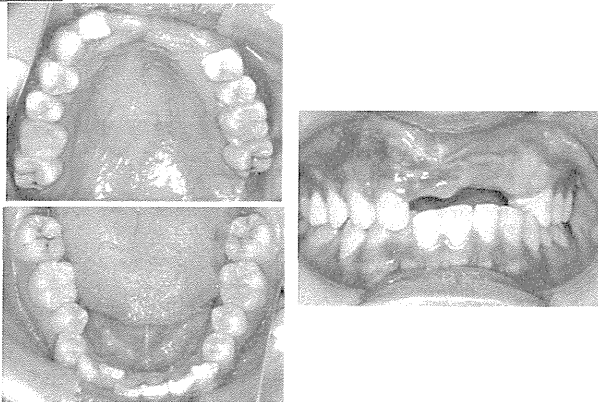
写真C

A-問22

問22 21歳の女性。審美障害を主訴として来院した。半年前、交通事故で前歯を喪失したという。口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。
補綴治療にあたり問題となるのはどれか。2つ選べ。

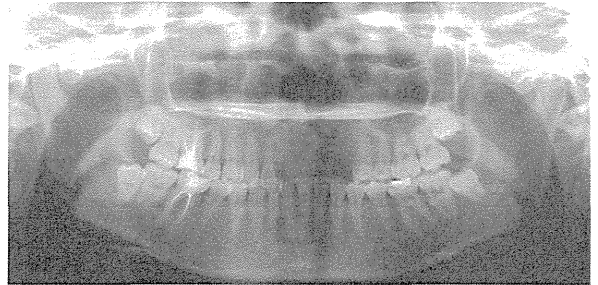
- a 口蓋隆起
- b 智歯の萌出状態
- c 対合歯との間隙
- d 切歯乳頭の位置
- e 唇側歯槽突起の欠損

A-問22



写真A

A-問22



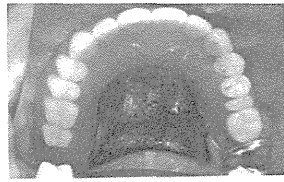
写真B

A-問23

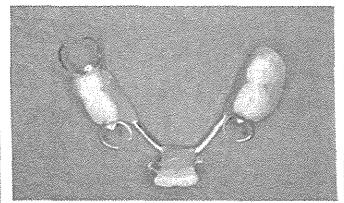
問23 78歳の男性。咀嚼時の下顎臼歯部の痛みを主訴として来院した。義歯は安定しているが、これまでも時々、同様の痛みがあったという。初診時の口腔内写真(A)、下顎義歯の写真(B)及び咬合接触検査の結果(C)を別に示す。考えられる原因はどれか、1つ選べ。

- a レストの不足
- b 人工歯の磨耗
- c 維持力の不足
- d 咬合接触の不均等
- e 義歯床後縁位置の不良

A-問23



写真A



写真B



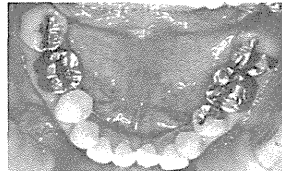
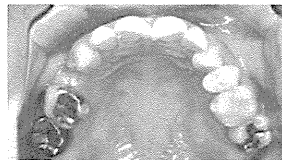
写真C

A-問24

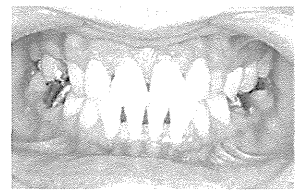
問24 35歳の女性。咀嚼障害を主訴として来院した。6か月前に歯根破折のため上顎右側第二小臼歯を抜去し、その後放置していたという。ブリッジによる治療を行うこととした。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)を別に示す。ブリッジの設計で適切なのはどれか、1つ選べ。

	右上6番支台装置	右上3番支台装置	連結法
a	全部铸造冠	硬質レジン前装冠	固定性
b	プロキシマルハーフクラウン	ジャケットクラウン	固定性
c	4/5冠	縦続歯	半固定性
d	陶材焼付铸造冠	3/4冠	半固定性
e	7/8冠	ピンレッジ	可撤性

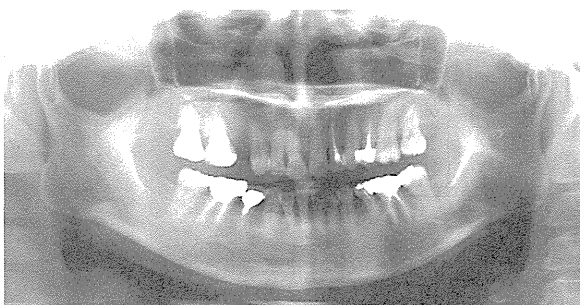
A-問24



写真A



A-問24



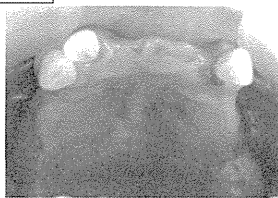
写真B

A-問25

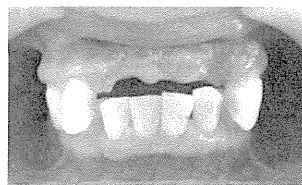
問25 76歳の女性。上下顎部分床義歯を製作することとした。口腔内写真(A、B、C)を別に示す。考慮するのはどれか、2つ選べ。

- a 咬合高径を決定する。
- b 上顎義歯床面積を小さくする。
- c ゴシックアーチ描記法を用いる。
- d 上顎前歯部は無圧印象を行う。
- e 上顎義歯にはレストを付与しない。

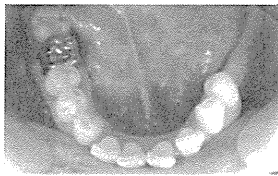
A-問25



写真A



写真C



写真B

A-問26

問26 63歳の男性。上下顎の全部床義歯の製作を希望して来院した。新義歯を製作し装着したが、調整中に左側頬粘膜後部に疼痛と腫脹が発生した。その時の口腔内写真(A、B)、咬合時の顔貌写真(C)、中心咬合位での咬合接触状態の写真(D)、適合試験の写真(E)及び上下顎義歯の嵌合状態の写真(F)を別に示す。腫脹部を矢印で示す。

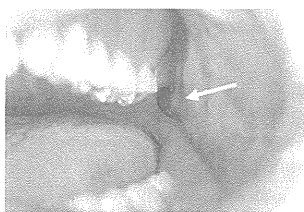
原因はどれか、1つ選べ。

- a 維持不良
- b 低位咬合
- c 早期接触
- d 床研磨面の形態不良
- e 人工歯の排列位置不良

A-問26



写真A

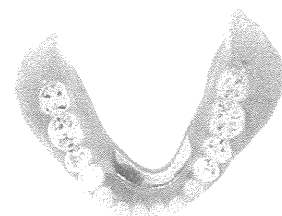


写真B

A-問26

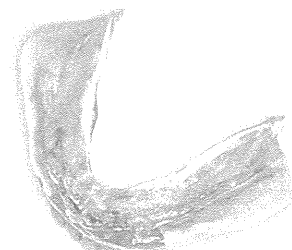


写真C



写真D

A-問26



写真E



写真F

A-問27

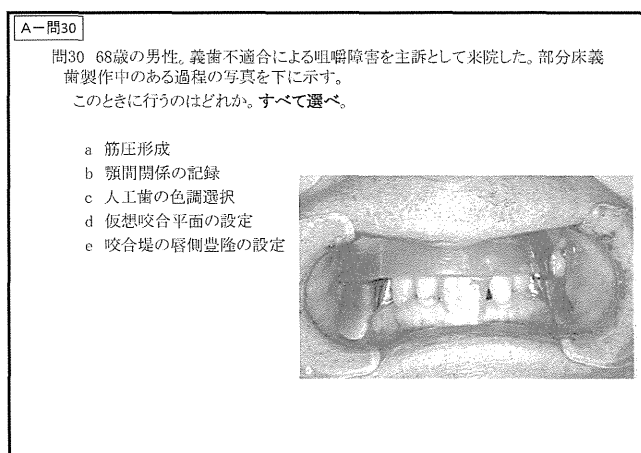
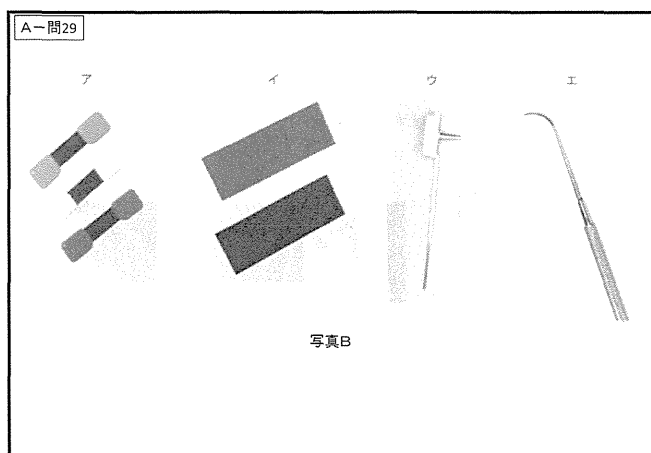
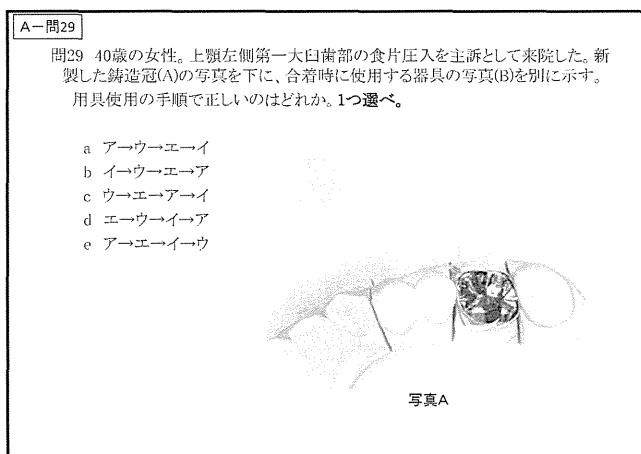
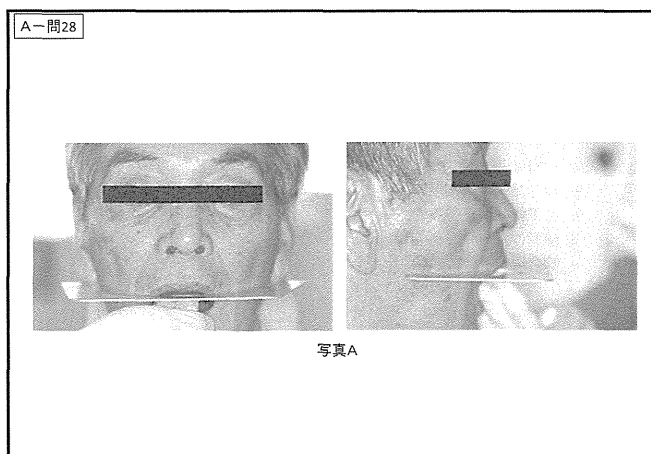
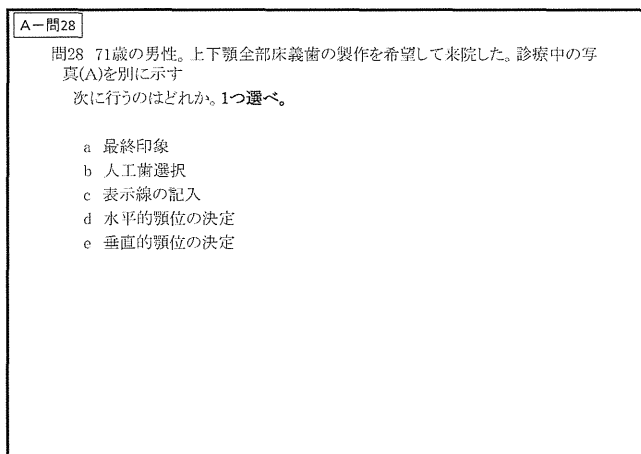
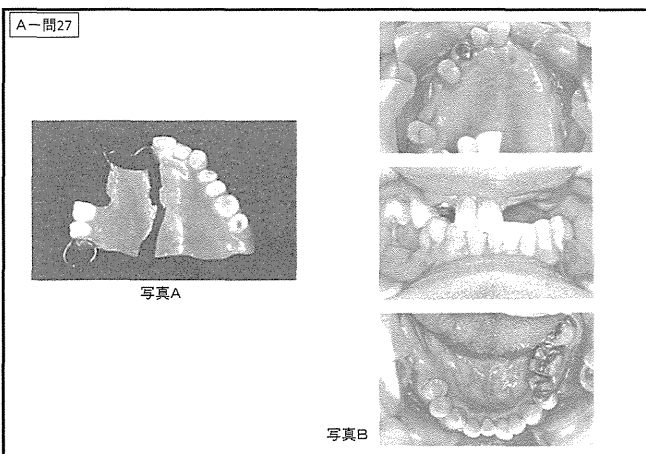
問27 56歳の男性。上顎義歯の破折と審美障害とを主訴として来院した。床義歯の上顎右側犬歯部は以前に破折していたが、破折部を保管中に紛失したという。模型を製作して人工歯の追加と義歯破折部の修理を行うこととした。破折した義歯の写真(A)と口腔内写真(B)とを別に示す。

行うべき手技を表に示す。

- | |
|----------------|
| ① 咬合採得 |
| ② 上顎の印象採得 |
| ③ 下顎の印象採得 |
| ④ 破折義歯の仮接合 |
| ⑤ 破折義歯の口腔内への設置 |

適切な順番はどれか、1つ選べ。

- a ③→⑤→④→②→①
- b ③→⑤→②→④→①
- c ⑤→②→③→①→④
- d ⑤→④→①→②→③
- e ②→③→⑤→④→①



A-問31

問31 40歳の女性。下顎右側第二小臼歯のポーセレンジャケットクラウンを製作することとした。支台歯の口腔内写真(A)とポーセレンジャケットクラウンの写真(B)とを別に示す。

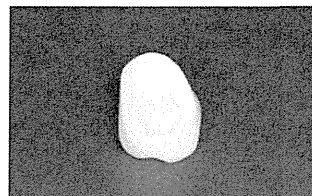
支台歯とポーセレンジャケットクラウンとに共通して行うのはどれか。1つ選べ。

- a スズ電析処理
- b フッ化水素酸処理
- c メタルプライマー
- d シランカップリング処理
- e デンティンプライマー処理

A-問31



写真A



写真B

A-問32

問32 73歳の女性。全部床義歯製作中の側貌写真を下に示す。ある基準平面に平行に仮想咬合平面を決定することとした。

この基準平面の決定に用いる点はどれか。2つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ



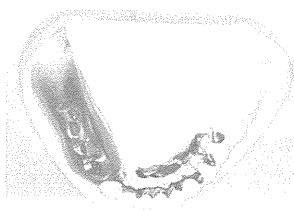
A-問33

問33 67歳の女性。部分床義歯製作のため咬合採得を行った。咬合採得後の咬合床を作業用模型に装着した写真(A)と咬合させたときの写真 (B)とを別に示す。

水平的顎間関係が適切にトランスファーされたことの確認に有用なのはどれか。2つ選べ。

- a レストの適合性
- b 残存歯同士の接触状態
- c 上下歯列の正中線の関係
- d 前歯のオーバーバイト量
- e 咬合堤の対合歯の印記状態

A-問33



写真A



写真B

A-問34

問34 45歳の男性。上顎右側第二小臼歯欠損による審美障害を主訴として来院した。陶材焼付ブリッジによる治療を行うこととした。装着後の口腔内写真を下に示す。

最も低い温度で行うのはどれか。1つ選べ。

- a ろう付け
- b 右上6番の鋳造
- c 右上4・5番の鋳造
- d 陶材の焼成
- e グレージング

